

ワークショップ&国際シンポジウム

**「男性同性愛者」のセクシャリティから「男性」ジェンダーを見る
—アジアにおけるHIV/AIDS問題の視点から—**

2007・12・16(日) 開場 9:45 開会 10:00

☆日英同時通訳つき(本ワークショップ&国際シンポジウムは、日本語ベースで行われます)

午前の部 ■お茶の水女子大学 理学部3号館2階 大会議室 10:00~12:00**● ワークショップ: 日本における「男性同性愛者」とHIV/AIDS**

【発表者】市川誠一(名古屋市立大学看護学部・教授、厚生労働省エイズ対策研究事業「男性同性間の HIV 感染対策とその評価に関する研究」・主任研究員)

砂川秀樹(財団法人エイズ予防財団・流動研究員)

【コメンテーター】風間孝(中京大学教養部・准教授)、棚橋訓(お茶の水女子大学大学院人間科学系・教授)

【司会】新ヶ江章友(お茶の水女子大学・COE 研究員)

午後の部 ■お茶の水女子大学 理学部3号館2階 大会議室 13:15~15:00**● 国際シンポジウム: 「男性同性愛者」の性的実践からみるHIV/AIDS**

【基調講演】ギルバート・ハート(サンフランシスコ州立大学セクシャリティ学部・教授)

『同性愛のカルチャー研究』(現代書館)をはじめとする文化人類学的研究、多数。

【コメンテーター】北仲千里(広島大学ハラスメント相談室)、新ヶ江章友(お茶の水女子大学・COE 研究員)

【司会】棚橋訓(お茶の水女子大学大学院人間科学系・教授)

本ワークショップ&国際シンポジウムは、「男性同性愛者」のセクシャリティを通して「男性」ジェンダーを見るという、新しい視点によるものです。特に、「男性同性愛者」の性的実践において、そこにどのような「政治」と「男性性」の構築が存在するのかを議論します。この問題を発展させ、HIV/AIDSの予防施策とどのように関わらせるのかを、文化人類学的視点から考察します。国際シンポジウムにおいては、セクシャリティ研究、ジェンダー研究、HIV/AIDSの文化人類学的研究の世界的第一人者であるギルバート・ハート博士を招聘し、開場の皆様と議論します。奮ってご参加ください。

◆参加費無料 会場 ■ お茶の水女子大学 理学部3号館2階大会議室

交通案内 ■東京メトロ丸の内線茗荷谷駅/有楽町線護国寺駅より徒歩10分

■本シンポジウムは、事前登録制です。参加ご希望の方は、①ご氏名、②ご所属、③ご連絡先、④懇親会参加の有無(参加費は1,000円)をご記入の上、12月9日(日)までに、以下のメールアドレスにご連絡ください。応募多数の場合は、先着順に締め切らせていただく場合がございます。

問い合わせ先 ■お茶の水女子大学 21 世紀 COE プログラム「ジェンダー研究のフロンティア」

E-mail ■ shingae.akitomo@ocha.ac.jp 新ヶ江章友(しんがえ・あきとも)

* 当日は、各自昼食のご準備をよろしくお願いいたします。